

開校 30 年記念

## 紋高養よさこいソーランの歴史

紋別高等養護学校のよさこいは、開校の年（平成 9 年）から始まりました。

一番始めに市民の皆さんの前で踊ったのは、紋別 港まつり『風舞祭』の舞台でした。その舞台で「奨励賞」をいただいた 1 回生の生徒たちは、俄然やる気が出て、「紋別だけではなく、札幌の舞台でも踊りたい」となり、開校の翌年から札幌の「YOSAKOI ソーラン祭り」に参加することになりました。

札幌の「YOSAKOI ソーラン祭り」は、平成 10 年から平成 28 年まで、連続 19 回参加しました。

生徒たちは、「**我ら互いに肩組みて 世の荒波に飛びこまん**」を合言葉によさこいを踊りました。

もう一つの合言葉は「**完全燃焼**」でした。この完全燃焼の文字は、生徒たちが着ている法被の背中にも刻まれています。



先日の学校説明会では、3 学年が新しい法被を纏い、躍動感ある演舞を披露できました。職員室廊下にこれまでの取組をパネルで掲示するとともに、今後は 7 月の体育祭、11 月の学校祭でも演舞披露を予定しています。また、30 年を一緒に祝おうとそれぞれ卒業生も参加する予定です。ぜひ御覧ください。